



《秋山雨後》1909年 秋田市立千秋美術館蔵

T E R A S A K I K O G Y O

寺崎廣業展

— 清らかに、雄大に —

2026.1.31^{sat} — 3.15^{sun}

※2月20日より一部作品を入れ替えます

〔開館時間〕 10:00～18:00(入館は17:30まで)

〔休館日〕 2月22日(日)(アトリオン全館点検日)

〔観覧料〕 一般500円(400円)／大学生300円(240円) 高校生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金
※くるりん周遊パスで観覧の場合、一般190円／大学生90円



秋田市立千秋美術館

AKITA SENSU MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田県秋田市中通二丁目3-8(アトリオン)TEL:018-836-7860



《残雪》1916年 秋田市立千秋美術館蔵

寺崎廣業展 — 清らかに、雄大に —

寺崎廣業(1866-1919)は、秋田に生まれ、日本画の近代化が叫ばれた明治から大正にかけて活躍した日本画家です。優れた画技に裏打ちされた作品は、歴史画、美人画、山水画と幅広い作域に及び、東京美術学校(現東京藝術大学)教授、文展審査員、皇室技芸員などの要職をつとめました。1910年、横山大観らと中国を訪れて以降自然を写すことに力を注ぎ、晩年は信州の雄大な山岳美に魅了され、写実と装飾を融合した独自の画境を拓きました。

生誕160年を迎えて開催する本展では、秋田での修業時代から晩年まで、所蔵作品を中心に約40点の作品と資料により画業の変遷をたどり、その芸術の魅力に迫ります。



《薄陽江頭之月》1910年 個人蔵



《千紫万紅》1913年 秋田市立千秋美術館蔵

《舞妓》(部分)
1910年 秋田市立千秋美術館蔵

《群蝶》1887年頃 個人蔵

関連事業

日本画ワークショップ — 岩絵の具に親しむ —

日時: 3月1日(日) 午後1時30分～4時

講師: 大関智子氏(日本画家・秋田公立美術大学准教授)

対象: 中学生～一般 12人

材料費: 500円

会場: 千秋美術館3階講堂

申込: 1月20日(火) 午前9時30分より電話にて受付

見どころスライドレクチャー

日時: 2月14日(土)・3月7日(土) 午後2時より

担当: 千秋美術館学芸員

会場: 千秋美術館3階講堂

※事前申込不要、観覧チケットが必要

アクセス

【電 車】JR秋田駅下車 西口徒歩約5分

【飛行機】秋田空港よりリムジンバスで約40分、タクシーで約30分

【車】秋田自動車道 秋田中央I.Cから車で約15分

※専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。

※お体の不自由な方は、アトリオンビル地下2階の身体障害者用駐車場をお使いください。



秋田市立千秋美術館

AKITA SENSU MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田県秋田市中通二丁目3-8(アトリオン)

TEL:018-836-7860 FAX:018-836-7862

展覧会情報など
発信中!



公式HP

